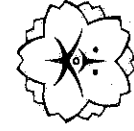


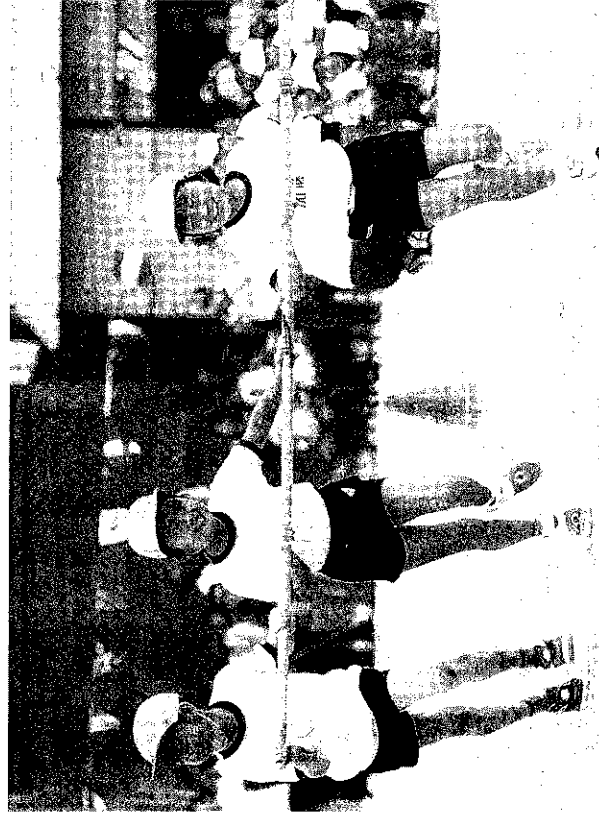
No.48

発行/奈良市議会
編集/奈良市議会だより
編集委員 会



〒630 奈良市二条大路南1-1-1
奈良市議会議務局
☎(0742) 34-4734

奈良市議会だより



みんなの前で元気いっぱい (明治小学校運動会)

9月定例会

市民の夢の実現に全力投じる 大川市長二期目の決意を表明

平成八年九月定例会は、九月十七日から十月一日までの十五日間の会期で開きました。この定例会では、九月八日執行の奈良市長選挙で再選された大川靖則市長が、招集あいさつで、二期目のスタートに際し、市民が抱かれている夢の実現に全力を投じるとその決意を述べました。また、平成七年度水道事業会計決算の認定など報告三件と一般会計などの補正予算、条例の一部改正、財産の取得など議案十五件を可決しました。このほか議員提出の意見書一件、決議一件を可決し、会期を一日繰り上げ、九月三十日に閉会しました。

市長は招集あいさつで、平成四年九月に就任以来、一貫して、「やさしさどふれあいのあるまちづくり」を行政の理念として、人にやさしく、ものにやさしく、ものによさしくの三本柱で、市民の皆さんとともに市の発展に努めてきた。今、奈良市は人口三十六万三千人を超え、全国六百

六十八市ある中で、人口規模で四十八番目、一年五ヵ月後の市制誕生百年も四十五番目にあたる。また、平城京以来千二百八十六年の歴史を有し、千二百年以上の木造建築物など世界に誇り得る文化財を豊富に有している。その奈良に住む市民は、まちの歴史に誇りを持ち、新たな歴史を創造

していかねばならない。あと四年三月で二十一世紀へと変わるが、今年は二十世紀から二十一世紀へ架ける橋の土台づくりの始まりの年である。そして迎える市制百周年は、次の百年の大計を立てる年の始まりであると考えている。そのために、社会状況をしっかりと見定め、今年度からスタートした後期基本計画に基づいて、ハード面、

ソフト面のまちづくり事業の推進に努めなければならないと考えている。四十数年に及ぶ市職員の経験を生かした行政のプロとして、そして、一期四年間の市長としての実績をもって、市民の皆さんが抱かれている夢の実現に全力を投じていく決意を新たにしていると、二期目のスタートに際しての決意を述べられました。

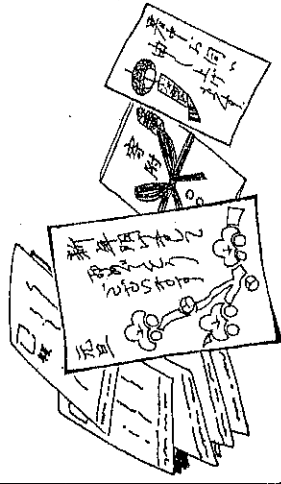
三公営企業決算を認定 提出案件すべて原案可決

今定例会では、十人の議員が質疑・一般質問を行いました。(二・三面に要旨を掲載) また、平成七年度空地造成事業費特別会計、水道事業会計、簡易水道事業会計の三公営企業会計決算の認定については、十四人の委員で構成する公営企業決算特別委員会を設置して審査を行いました。(四面に審査概要を掲載) 市長から提出された十八件の案件は、すべて原案どおり可決しました。

また、議員から提出された道路特定財源諸税の現行税率の堅持及び地方の道路整備財源の充実強化に関する意見書と、テレホンクラブ、ツィンショットダイヤル規制条例の早期制定を要望する決議を原案どおり可決しました。今定例会の会期は十月一日までとなっていました。予定の案件をすべて議した九月三十日に、会期を一日繰り上げ、閉会しました。

議員の
年賀状
寄附行為
は
法律で禁止
されています

議員が選挙区内の者に、年賀状などのあいさつ状を出すこと(答礼のための自筆によるものを除く)や、寄附をすること、また、有権者が議員に寄附を要求することは公職選挙法で禁止されています。市民皆様の一層のご理解をお願い申し上げます。



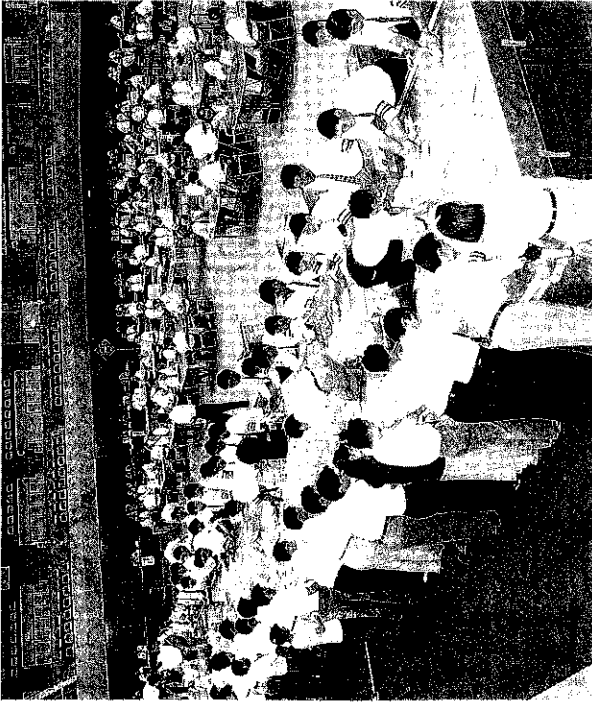
〔議決結果一覧〕

九月定例会で議決した議案は、次のとおりです。

件名	結果
◇平成七年度水道事業会計外三公営企業会計決算の認定について	認定
◇市長専決処分の報告及び承認を求めることについて 平成八年度一般会計補正予算(第一号) 病原性大腸菌「O-157」にかかる保育園学校給食の食中毒防止対策費、六、六一〇万円の補正	承認
◇平成八年度一般会計外四特別会計補正予算 総額四億七、九五八万一千円の補正	可決
◇災害派遣手当の支給に関する条例の制定について 災害応急対策、災害復旧のため、他の地方公共団体等から派遣された職員に手当を支給するための条例措置	可決
◇市建築協定条例の一部改正について 土地区画整理事業等区域内における建築協定制で、仮換地段階での建築協定締結が可能な条例整備	可決
◇市営住宅条例の一部改正について 古市町、杏町、横井町市営住宅建て替えに伴う家賃等についての条例措置等	可決
◇財産の取得について(三件) 消防ポンプ自動車等の取得	同意
◇工事請負契約の締結について(二件) ・仮称生涯学習センター新築その他工事 ・近鉄学園前駅南地区第一種市街地再開発事業施設建築物新築その他工事	同意

意見書・決議

今定例会で可決し、政府、県に提出した意見書、決議は次のとおりです。
▽道路特定財源諸税の現行税率の堅持及び地方の道路整備財源の充実強化に関する意見書
来年四月からの消費税の引き上げに際し、ガソリン税等の道路特定財源諸税の軽減を求める動きがあるが、今後の道路整備に支障をきたすことになる。道路整備の着実な推進のため、現行税率を堅持し、地方の道路整備財源を充実強化されるよう強く要望する。
▽テレホンクラブ、ツィンショットダイヤル規制条例の早期制定を要望する決議
近年の青少年を取り巻く環境は、テレホンクラブ、ツィンショットダイヤルを利用した性非行の増加など依然憂慮すべき状況にある。青少年の健全育成と環境の浄化を図るため、テレホンクラブ、ツィンショットダイヤル営業を規制するための県条例の早期制定を強く要望する。



奈良市長選挙での開票作業（9月8日、中央体育館で）

市政への関心高める必要がある 市長選挙の低い投票率

問 九月八日執行の市長選挙の投票率は三〇・〇％と低かったが、今後の対応は。

答 投票率の向上には、市民の皆さんに、市政に対する関心を持っていただくことが

大事であり、市の公共施設を利用し、まさに自分たちが市民であるという認識を持っていただけるような受け皿づくりが必要である。

投票所見直しの必要性も感

行政姿勢

質問と答弁

本会議

21世紀への橋渡しの土台づくり 都市基盤整備はぜひ必要

九月十九日、二十日、二十四日の本会議では十人の議員（うち代議員五人）が質疑・一般質問を行いました。今定例会では、先の市長選挙で再選された大川市長に対し、これからの政治姿勢や懸案の都市基盤整備、またソフト面の施策など、二期目の市政運営についての抱負などに質問がありました。以下は質問と答弁の要旨です。

している。法整備が必要であるが、若い人たちに投票してもらえらる方策としてコンピューターを利用し百貨店などでも投票できるような方法も必要なのではないか。今後、機関を通じて訴えて行きたい。

地方財源充足を 消費税率引き上げ

問 来年四月から五％に引き上げられる消費税についてどのように思うか。引き上げによる市の支出消費税分はいくらになるか。

答 国の税制改正にかかわる問題ではあるが、引き上げの目的を明確にすること、地方の時代の今日、地方財源の充足にもなるようにしていただきたい。

三％から五％に引き上げられると、平成八年度当初予算に基づき試算では、約八億四千万円の増額見込みである。

行革推進に 数値目標必要

問 今日の厳しい財政状況や多様化する市民ニーズに対応するため、全国で行政改革

が論議されている。本市の行政改革をより推進するため、行政経費の見直しや情報のシステム化等の数値目標を設定してはどうか。また、市の審議会等の統廃合の考えは。

答 年内に策定予定の行政改革大綱を踏まえ、目標の数値化が図れるものがあるか検討したい。

また、平成八年六月一日現在、法令、任意によるものを合わせ、九十の審議会等がある

都市整備

当面する最大の課題 JR奈良駅周辺整備

鉄道の立体化や駅南土地区画整理事業を含めた進捗状況と今後の見通しは。

問 JR奈良駅前のまちづくりは、どのように見直すのか。第二街区再開発ビルはどうか。見直しに当たって市民、文化人の提言を受けざるべきではないか。

答 第二街区再開発ビルは地元研究会で協議を重ねてきたが、合意形成が十分熟さず事業着手に至っていない。今後は、地元の方が再開発事業をやる気になっていただけるかどうかの動向を見極めなが

問 当面する最大の課題は、JR奈良駅周辺の整備である。現下の経済情勢、社会情勢はこのプロジェクトにとって決して追い風ではない。

り、現在の活動状況を把握し、検討したい。

防災対策

災害時の救援 物資運搬計画

問 災害によって、ライフラインが断たれたとき、救援物資をどうやって運ぶか。平時の防災体制は。

答 災害時の輸送は、地域

事に着手し、駅西口広場、人工地盤等の整備を行う。駅東側については、できるだけ早く使用できるよう努力する。

現在工事を進めている再開発ビル、地上駐車場、市民ホールは平成十年春の完成を目指している。百貨店等の誘致も鋭意努力していきたい。

高度情報センター等は、導入機能の再検討を中心に見直し、整備に取り組みたい。

連続立体化事業と駅南土地区画整理事業は、年度内に都市計画決定を行う予定である。

地元の動向を見極め JR第二街区再開発

問 JR奈良駅前のまちづくりは、どのように見直すのか。第二街区再開発ビルはどうか。見直しに当たって市民、文化人の提言を受けざるべきではないか。

答 第二街区再開発ビルは地元研究会で協議を重ねてきたが、合意形成が十分熟さず事業着手に至っていない。今後は、地元の方が再開発事業をやる気になっていただけるかどうかの動向を見極めなが

防災計画の配車・輸送対策計画に基づき、市有車両や輸送業者により行うとしているが、道路途絶や渋滞を考慮して見直しを図っていく。県と市が協力して推進しているヘリポートの建設も重要な役割を果たすと考えている。

防災計画の見直しに当たっては、防災行政無線の整備、応援体制の整備、自主防災組織の育成など、各方面にわたっての見直しを図り、万全を期していく。

ら、どうするかの判断をしたい。

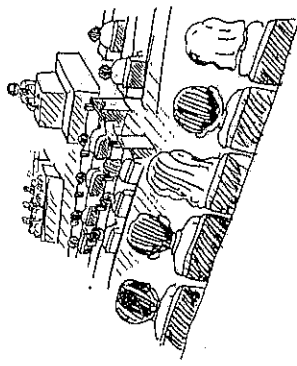
市民などの提言は、十分検討し、良いものについては受けさせていただく。

合意形成に時間 西大寺駅北再開発

問 近鉄西大寺駅北地区市街地再開発事業及び同南地区土地区画整理事業の今後の進め方は。

答 再開発事業は、バブルの崩壊によって事業が難しくなっている。再開発ビル建設の賛同者が少なくなっており、その辺も見極めながら事業を推進しなければならない。地元の方々の納得を得られるような交渉を鋭意進め合意形成を図っていくが、相当時間を要するものと思う。

南の区画整理事業は、遷都千三百年に間に合うよう平成二十二年三月までには完成させなければならないと思っている。この事業にかかわり一部で係争中であるが、これも和解により一日も早く解決に努めたい。



本会議を 傍聴してください。

詳しくは 会議録の閲覧を

本会議での議員の質問や理事者の答弁内容を詳しく知りたい方は、市立図書館や市役所一階市民ホールの行政資料コーナーで、会議録を閲覧してください。

九月定例会の会議録は、十二月中旬にできる予定です。

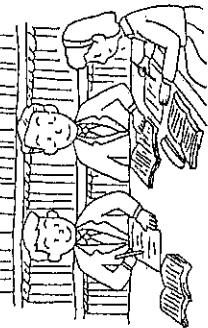
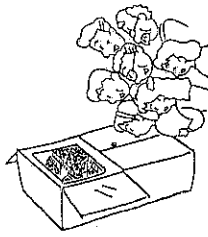
議会の本会議は公開が原則ですのでどなたでも傍聴できます。市民の皆さんの生活に直結した重要な問題を審議していますので、市政を身近なものにするためにも本会議を傍聴してください。

本会議は年四回（三月、六月、九月、十二月）開きます。

傍聴に関する手続き、日程は議事事務局（三四一四七三四）へお問い合わせください。

モニターテレビも放映

本会議の様子は、市役所一階市民ホールのモニターテレビでも放映しています。本会議開会中のみの放映になりますが一、一度ご覧下さい。



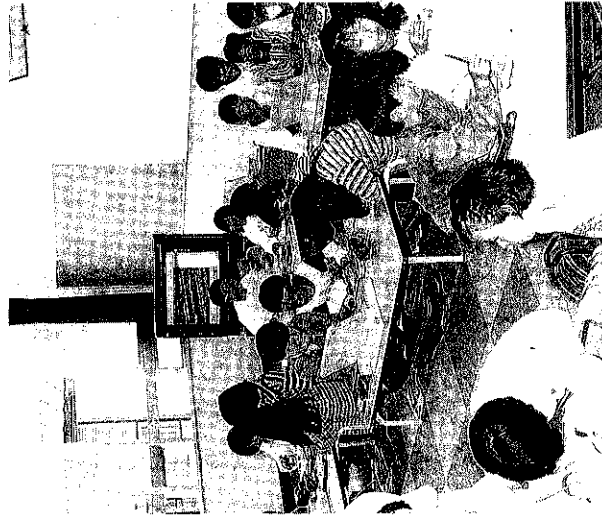
教育

自由に触れる環境 小学校へのパソコン

問 子どもたちの教育利用のため、小・中学校にタイプの異なるパソコンを導入したが、それぞれの活用方法は。また、追加設置の考えは。

答 小学校への導入では、図書室を中心に子どもたちが自由にパソコンに触れることができる場へ設置し、書籍等と合わせ、総合的に情報を活用する能力を高める環境づくりを目指している。中学校では、より多様で柔軟な授業展開が図れるようノート型パソコンを導入した。

今後、平成十二年までに小



熱心にパソコンを操作する6年生(登美ヶ丘小学校)

調理員の業務量増

〇-1-157対策

問 病原性大腸菌〇-1-157対策で調理員の業務が増え

ている。点検項目はどのくらい増えたのか。もともと不足している人員の増を図るべきではないか。また、退職による補充をアルバイトでなく常勤職員にすべきではないか。

答 学校給食の日常点検項

学校二十二台、中学校四十二台という国の基準を踏まえ、

追加設置を行えるよう努めた

福祉

少子化に全庁的取り組みを 体制づくり研究したい

の「少子社会対策推進本部」といった全庁的な体制づくりを考えてはどうか。

答 子育て支援対策は、労働、教育、住宅、医療、保育

少子化の進行は、子どもの自主性・社会性の低下、社会保障費用にかかる現役世代の負担増など社会全体の問題である。子育て支援のため

など広範囲にわたる施策が必要であり、学校、家庭、社会が連帯感を持って総合的に対応しなければならない。子ども

福祉のまちづくり 市独自の条例制定は

問 県の福祉のまちづくり条例が施行されたが、市独自の条例制定のめどは。七年度実施した公共施設の調査結果を九年度予算にどう反映するのか。

答 市の条例制定については、前向きにという考えを持っているが、現在、市の要綱があり、そのほとんどが県の条例に含まれている。しかし、市の要綱でカバーしているものもあるので、条例化するか、十分に検討したい。

公共施設の点検については、市の既存施設のうち、建築物

ものための施設や環境の整備、そして各事業のより一層の充実に取り組み、行政内部の体制づくりも研究したい。

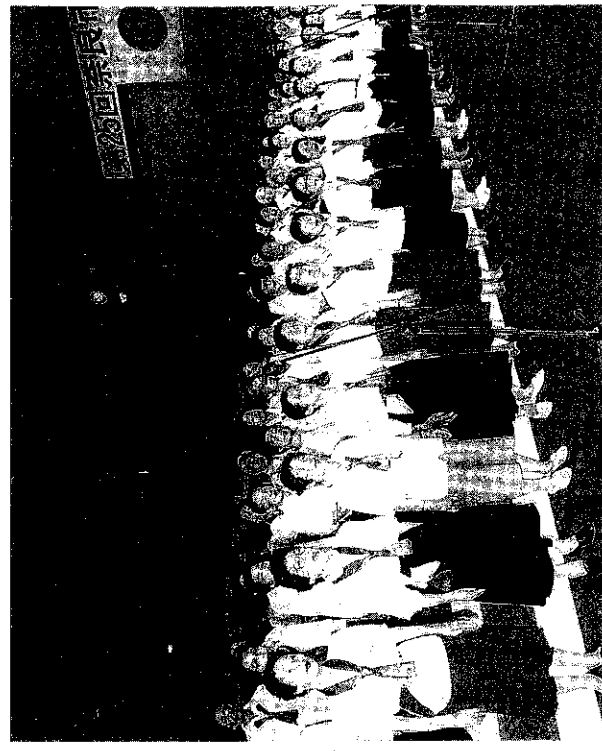
意気に燃える 活力ある高齢者

問 高齢者福祉に対する取

の段差解消を要する個所が百十カ所あった。このうち十七公民館については、昨年中に整備が完了した。歩道の段差切り下げは八百カ所、公園の出入り口段差切り下げは百二十カ所あった。これらの施設改善については、厳しい財政状況であるが、福祉のまちづくり事業としての予算を考えていかなければならない。

り組み方針は。

答 高齢者人口はますます増え、高齢者福祉の充実が奈良市にとっても大きな課題で



意気に燃えるシルバーコーラス（9月15日福祉大会で）

五中学校で服装自由 校則など一定のきまり必要

問 今日、アメリカや中国でも私服から制服着用の法制化が進んでいるし、近畿各都市のほとんどが制服ないし標準服を採用しているが、本市では全中学校十九校中五校が私服である。中学生はまだ倫理感も定まらない年代であり、一定のきまりが必要だ。教育の本質にかかわる問題と受け止め、一定の指導が必要ではないか。

答 五校中三校は創立時から服装を自由に行っている。生徒自身が考え、行動していくことが大切であるとの考えで規則の少ない学校を退廃された結果である。他の二校は、生徒会が生徒や保護者にアンケートを行い、学校やPTAも含め十分検討し実施されたものである。制服は、校則の一部であり学校の責任で決定されるべき

ているが、退職による減等で欠員が生じたため、代替措置としてやむを得ず臨時職員を雇用している。今後、正規職員の配置を強く要望していく。

同和対策

隣保館の老朽対策 委員会設け検討

問 来年三月で、地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律が効力を失うが、隣保館の整備は平成九年度以降の五年間に限り、補助制度において特段の配慮を行うと閣議決定されている。差別解消のための相談、啓発、交流の拠点として

百数十人の方々によるシルバーコーラスの意気に燃える活力ある高齢者の姿に接し、このようなものをどしどし普及させていかなければと思っている。

障害者雇用 支援センター

問 障害者の雇用の促進等に関する法律が平成六年に改正され、自立を図るために継続的な支援を必要とする障害者に対して、市町村レベルできめ細かな職業リハビリテーションを実施する障害者雇用支援センターを設置できることになった。これへの国の補助率は高い。取り組みについて聞きたい。

答 国の補助金の枠が四分の三ということもあるので、前向きに進めたい。

その他の主な質問事項

- 建設中の県営ペリポート
- 公共施設の耐震診断
- 道路橋梁の耐震調査と補強対策
- 民間建物に対する耐震診断
- 平城宮跡、朱雀大路復元整備事業の進捗状況
- 国道三六九号線から木津町に通じる道路整備
- 積水化学工業移転と中ノ川用地の活用策
- 市制百周年への取り組み
- 世界文化遺産への登録
- 将来都市像を達成する真体的施策
- 暮らしを守る市政への転換
- 厳しい財政状況と改善計画
- 補助金の見直し
- 使用料等施設管理の見直し
- 遊休市有地の有効活用
- 外国籍職員採用と管理職への登用
- 情報公開の進め方
- 統廃合を含めた機構改革
- 消防職員の採用予定と今後の増員計画
- ならまち小型ポンプ車の水利
- 少子化対策としての新婚世帯家賃助成制度創設
- 地方版エンゼルプラン策定への取り組み
- 女性センターの建設
- 国際交流の取り組みと国
- 際交流センターの建設
- 墓地の建設
- 二十四時間対応巡回ホームヘルプサービスの実施状況
- 南老春の家建設計画
- 空き教室の福祉施設としての利用
- ボランティア養成と組織化
- 保育対策緊急五カ年計画の内容
- 保母採用への見解
- 〇-1-157対策
- 佐保台小学校校区見直し
- インターネットの学校への早期導入
- 子ども議会開催の継続
- 青少年の環境づくり
- テレクラ対策
- 公民館分館使用規制の緩和
- 地対協意見書の政府見解に対する認識
- 個人給付的事業の見直しと一般対策への移行
- いじめ問題対策委員会
- 大型ごみ収集方法の調査有料化
- 容器包装リサイクル法への取り組み
- リサイクルセンター建設計画の進捗状況
- 第二清掃工場建設計画
- 水道事業長期需給計画の見直し
- 残したい日本の音風景百選の観光行政への活用

う地域福祉の拡充を図るための検討が必要である。学識経験者や関係機関、運動団体の代表者の参加を得て、検討委員会を設置し、施設のあり方運営の検討を行いたい。

隣保館については、地区住民の自立に向けた事業のあり方、社会情勢の変化による事業の見直し、高齢化に伴

隣保館の老朽対策を早急に

考えるべきだが。

